



柴崎 祐美 SHIBASAKI Masumi

人文学部 教育福祉学科 講師

地域共生社会の実現に寄与する老人クラブ活動のあり方

キーワード

高齢者福祉, 老人クラブ, 高齢者の社会参加, 介護予防, 認知症ケア

研究内容

我々はコロナ禍における老人クラブの活動を調査し、活動は縮小しつつも、会員の安否確認、孤立防止、介護予防情報の提供を活発化した老人クラブの実態を明らかにしました。近年、加入者数の減少から衰退が指摘されがちな老人クラブですが、地域共生社会（多様な主体がつながり・支えあう社会）の実現に参画する力を持つ組織であることが示唆されました。

令和6年から2年計画で老人クラブを対象としたアンケート調査、インタビュー調査を実施します。老人クラブの活動実態や関係機関との協働・連携等の実態と課題を明らかにし、老人クラブが地域共生社会の実現に資する活動を実践、発展させるために必要な方策を検討していきます。

関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- ・柴崎祐美・湯本晶代（2023）コロナ禍における老人クラブの活動と社会参加における役割、多摩論集39巻、211-228.
- ・柴崎祐美・湯本晶代（2024）老人クラブ活動にみる認知症の「共生」と「予防」、日本認知症ケア学会誌 Vol.23-1, 218
- ・柴崎祐美・湯本晶代（2025）老人クラブ活動にみる認知症の「共生」と「予防」～機関紙分析による予備的調査～、認知症ケアジャーナル, 17(4), 284-287.

社会連携・産学連携の可能性

高齢者の社会参加、認知症ケア、家族介護者支援に関する政策提言に資する調査、共同研究が可能です。